

ツアー番号
LKB5XWS95M

魅惑のスリランカ（18日間）

18日間・17泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この18日間のツアーは、プライベート車と運転手ガイドでスリランカ全域を巡るもので、西海岸のネゴンボのビーチから文化三角地帯へ、中央の丘陵地を上り、南東の野生動物公園を経由して、最後に南海岸のウナワトゥナへと続くルートをたどります。アンティークなダンブッラとシギリヤなどの古代遺跡と、キャンディとヌワラ・エリヤ周辺の茶畑、ヤラでのサファリ、そして休暇を締めくくるための長いビーチタイムを組み合わせた、広範囲にわたるツアーです。

旅行者は歴史、自然、海岸の混合を体験します。洞窟寺院と岩の要塞、ミンネリヤでの象の集会、村人のように過ごす1日、歯の寺院とペラデニヤ庭園、丘陵地を通る風光明媚な列車の乗車、エッラからのハイキング、ヤラでのヒョウサファリ、そしてガッレの古い砦町を経由して、ウナワトゥナのビーチで3日間をのんびり過ごします。

ペースはゆったりしており、複数夜の滞在が組み込まれているため、各地域を急がずに吸収する時間があり、最後の数日間はビーチ、水泳、ウォータースポーツ、そして帰路のフライトの前に自由な時間が確保されています。



日程詳細

1日目 ネゴンボ(1〜2日目)

西海岸のネゴンボで2日間ゆっくりと過ごし、ビーチや古くから続く漁業の町を楽しみます。



ネゴンボ・ビーチ

西海岸に広がる砂浜で、水泳やリラックス、ダイビングなどのマリンスポーツを楽しむ時間です。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ネゴンボ魚市場

この沿岸で今も続く、何世紀にもわたる漁業の様子を見学します。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

難破船ダイビングスポット

沖合にある築50年の難破船は多種多様な魚の住処となっており、サンゴや海中生物を楽しめることからダイバーに人気のスポットです。

3日目 ネゴンボ → ダンブッラ

内陸のダンブッラへ向かう道中では、スリランカ最古級の仏教遺跡である、岩を彫って造られた石窟寺院を訪れます。



ダンブッラ石窟寺院

紀元前1世紀にさかのぼる洞窟群には、仏陀の生涯を描いた古代の壁画や、仏陀および諸神の像が数百体安置されています。「神聖なる王の洞窟」「偉大なる王の洞窟」「大いなる新僧院」など、5つの主要な洞窟から成ります。

Lankapic · CC BY 2.5

黄金の仏像

石窟群から少し離れた場所には、巨大な黄金の仏像が立っています。

4日目 ダンブッラ → シギリヤ → ミンネリヤ → ダンブッラ

シギリヤ・ロックへの登頂と、午後にはミンネリヤ国立公園でのサファリを組み合わせた1日で、夜はダンブッラに戻って宿泊します。



シギリヤ・ロック・フォートレス

5世紀にカーシャパ王のために築かれた岩の要塞で、巨大なライオンの爪をかたどった入口から入ります。登る途中では色あせない壁画や、段々畑状の庭園、今なお使える貯水池やトンネルを通り、宮殿跡へと至ります。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



ミンネリヤ国立公園

公園内を3時間かけて巡るサファリです。5月から10月の乾季には150頭を超える象が集まる「グレート・エレファント・ギャザリング」で知られるほか、他の哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類も生息しています。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

5日目 ダンブッラ

主要な観光地を離れ、ダンブッラ周辺の村の暮らしを体験する1日です。

村の生活体験

牛車に乗り、静かな湖をカタマランで渡り、水田を歩き、伝統的な料理のデモンストレーションを見学した後、ハスの葉に盛られた手作りの昼食をいただきます。これらすべてを通して、スリランカの田舎の暮らしを感じることができます。

6日目 ダンブッラ → マータレー → キャンディ

キャンディへ向かう道中では、スパイスの産地として知られるマータレーを通り、仏歯寺へと向かいます。



スパイス&ハーブガーデン

スリランカのスパイスの都マータレー近郊にある庭園で、アーユルヴェーダに用いられるハーブ、スパイス、植物が栽培されています。ガイド付きのスパイスツアーでその用途について学びます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



仏歯寺

仏陀の聖なる歯の遺物を安置し守るため16世紀に建てられたユネスコ世界遺産で、彩色された大広間、彫刻を施した柱、黄金の仏像が見られます。

A.Savin · FAL

7日目 キャンディ → ペラデニヤ → キャンディ

キャンディからペラデニヤ植物園への日帰り旅行です。



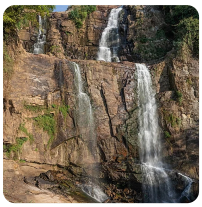
ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に造られた広大な植物園で、ラン、スパイス、薬用植物など4,000種以上の植物が植えられています。大砲の木(キャノンボールツリー)、吊り橋、生垣の迷路なども見どころです。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

8日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

ヌワラエリヤへ向かう道中では滝や茶園を通り過ぎ、英国人によってイングランドの田園風景を模して築かれた高原の町へと至ります。



ランボダの滝

ヌワラエリヤへ向かう途中で見られる、スリランカで11番目に高い滝です。

A.Savin · FAL

マックウッズ茶園

セイロン茶の品種、加工方法、品質についてガイド付きで学べる茶園見学です。セイロン茶は1824年に茶の木が初めて島に持ち込まれた後、1850年代にジェームズ・テイラーによって商業的に導入されました。



ハッカラ植物園

木陰の並木道や色とりどりの迷路を散策できます。

Own work of Buddhika Mawella · CC BY-SA 3.0



グレゴリー湖

湖畔をのんびりと散策します。

Rehman Abubakr · CC BY-SA 4.0



ヌワラエリヤの町

イギリスの田園風の町並みを模して築かれた高原の町で、ジョージ王朝様式やクイーン・アン様式の邸宅、英国国教会の教会、ゴルフコース、手入れの行き届いた公園があります。標高が高く、冷涼で爽やかな空気に包まれています。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

9日目 ヌワラエリヤ → ホートン・プレインズ → ヌワラエリヤ

草原や雲霧林、展望スポットで知られるホートン・プレインズ国立公園への日帰り旅行です。



ホートン・プレインズ国立公園

オヒヤにある高山草原と雲霧林で、固有の動植物や考古学的発見で知られています。「ワールズ・エンド」からの眺望や、涼やかな水しぶきを浴びるベイカーズ・フォールズも見どころです。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

10日目 ヌワラエリヤ → エラ

高原地帯を走る風光明媚な鉄道の旅で、ヌワラエリヤとエラを結びます。



ナヌオヤ〜エラ間の鉄道の旅

スリランカでも屈指の美しい高原地帯を走る鉄道の旅で、茶畑や霧に包まれた村々、ハプタレー周辺の景色、山々、森林、滝などを車窓から楽しめます。

Chamal N · CC BY-SA 3.0

11日目 エラ

エラ周辺を巡る3時間のハイキングで、代表的な展望スポットやランドマークを訪れます。



リトル・アダムス・ピーク

緑の茶畑や岩がちな道を歩き、リトル・アダムス・ピークからの眺望を楽しみます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナイン・アーチ・ブリッジ

橋の建設にまつわる物語を聞きながら、橋の上を歩いて渡ります。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0



デモダラ駅

独特のループ状の線路設計で知られるこの駅で、ハイキングは終了します。

A.Savin · FAL

12日目 エラ → ヤラ

エラからヤラへの移動日で、到着後はホテルにチェックインします。

13日目 ヤラ

スリランカ南東海岸にある、島内で2番目に広い国立公園、ヤラ国立公園でのサファリの1日です。



ヤラ国立公園サファリ

3時間のサファリで、スリランカヒョウ、野生のスイギュウ、スリランカナマケグマ、大きな象の群れなど、さまざまな哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、無脊椎動物を観察するチャンスがあります。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

14日目 ヤラ → ウッサンゴダ → ルマッサラ → ウナワトゥナ

ヤラから南へ向かう道中では、荒涼とした海岸台地ウッサンゴダ、ルマッサラの丘、そして古い要塞都市ゴールを訪れた後、ウナワトゥナへと至ります。



ウッサンゴダ

木のない海岸台地で、有毒な重金属を含む蛇紋岩から成り、特定の丈夫な植物のみが育つことができます。地元の伝説ではこの不毛な大地はラーマーヤナと結び付けられており、ハヌマーンの燃える尾や、ラーヴァナ王が戦車の着陸地点としてこの台地を使ったという話にまつわるとされています。

A.Savin · FAL



ルマッサラ

ゴールの東にある丘で、頂上には白い仏塔が建ち、ウナワトゥナのビーチからも目印として見ることができます。地元の伝説では、ハヌマーンが落としたドロナギリ山の破片であるとされ、シータがランカーに滞在していた時代と関わりのある場所ともいわれています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ゴール・フォート

ポルトガルとオランダによって築かれた、アジアでも屈指の保存状態を誇る要塞です。博物館や灯台、オランダ統治時代の名前が残る石畳の通りがあります。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

15日目 ウナワトゥナ(15〜17日目)

スリランカ屈指の名高いビーチ、ウナワトゥナで過ごす3日間の自由時間です。



ウナワトゥナ・ビーチ

砂浜、太陽、海風を楽しみ、夕日を眺め、ウミガメの産卵を観察し、ジェットスキーやウィンドサーフィンなどのマリンスポーツに挑戦する時間です。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

18日目 ウナワトゥナ → バンダラナイケ国際空港

朝食後、チェックアウトして空港へ移動し、帰国の途につきます。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, Fuel, Parking & Highway tolls.
- Service of English-Speaking Chauffeur Guide.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Entrance fees to the respective sites.
- Hotel Accommodation and Meals.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.